



のり子の
福島視察
報告⑤

無念の思いで
県民に寄り添う
党福島県議団

福島の視察報告はひとまずこれで終わらせていただきます。県当局からお話をお伺いした後、日本共産党の福島県議団室にお訪ねし、懇談させていただきました。福島県議団は女性4名で男性が1名です。室内は被災地の復興に取り組んでいる勢いがみなぎっていました。あつという間に予定の時間が過ぎてしまいました。

懇談会では「大飯原発再稼働反対の意見書」を議会に求め、全会一致で「原発の再稼働について住民の安心心の確保を最優先に対応することを求める意見書」が採択されたことや、原発事故を「人災」と認めてこそ被災県の足場がしっかりするという立場を主張し議会内外でがんばっています。被災されたすべての県民の怒り、悔しさ、救える命が助けられなかった無念の思いをかかえ、県民に寄り添って奮闘するエネルギーに圧倒されました。原発被災で放射線の低線量の被ばくを受けた子ども



福島県議団と懇談する和歌山県議団（向う側）

も達の健康調査や研究、全県民の健診・医療費無料化など子どもと県民を守る施策の具体化を県だけでなく国も一体となってすすめるべきです。

そのためにも総選挙で即時原発ゼロをめざす日本共産党の国会議員を一人でも多く送り出すことが被災された方々への思いに応えることになると日々感じています。みなさんと

Relay talk

産廃報告集会に70名

10月8日、産廃問題報告集會に約70名が参加頂き、本日に有難うございました。

滝畑地域へ産廃最終処分場建設計画が明らかになってから1年半になります。山口連合自治会長は「市長への反対署名は12万筆、デモ行進は3回実施、署名は手元にもっと集まっています」と報告されました。

滝畑自治会長からは、計画の問題点や運動についてパワーポイントで説明して頂きました。私は党・市議団の取り組みを報告しました。当初は18ha、290万m³、南谷池を埋立てる、という計画だったが反対運動と共に「南谷池の埋立てには水利権者の同意が必要」「290万m³は中核市で一番の容積。和歌山市の安定5品目のゴミ年間5万

さらに大きな運動へ！

1年半の闘いに確信
参加者からは、「初めは処分場が必要だと思っていたが、報告を聞いてよくわかった。反対運動に頑張る」、「まだ署名してない方がいる。声をかける」など質問や意見等が出され、有意義な集会となりました。



行き詰まった野田内閣、解散して国民の信を問え

野田内閣は閣僚の10人も変える大改造を行なって10日以上経つ。「課題が山積」と言いながら臨時国会を決めず。その間にも震災復興予算の一部を復興と関係のない事業に横流ししたり、原発再稼働について「原子力規制委員会が判断する」、「いや政府だ」と責任を押し付け合い。「2030年代に原発ゼロ」という気の遠くなるような「戦略」を打ち出しながら閣議決定もしない。

原子力規制委の人選は国会の同意が必要だが、首相の任命だけで動き、国会の事後承諾が必要だが、これを提案すると、民主党にまだ10数人いると言われる離党予備軍から8人以上の離党者が出るかも？ そうなると国民新党含めて与党は過半数割れとなる。これが怖くて国会を開かないとの説まである。なんだかんだと言って一日でも延命するつもりだ。「何も決められない」政治に国民はウンザリ。内閣支持率も26%（NHK）、23%（朝日）とまさに「風前の灯」なことから、サッサと国会を開き、解散して国民の信を問うべきではないか。

Calendar

- 10月12日 市駅・吉宗公像前朝宣伝、ねんりんピック壮行式
13日 県民要求政策研究集会
14日 野間友一元衆議院議員懇話会
15日 麦の郷訪問
16日 決算委員会傍聴
17日 新婦人絵手紙展、地域訪問
18日 決算委員会傍聴、民医連懇談会

(主なもの)

党市議会議員
南畑 幸代

